

8. 弘前市教育年表

弘前市教育年表

年度	事 項
平成 17 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市町村合併（旧弘前市・旧岩木町・旧相馬村）により新弘前市の誕生（2月27日） ○ 教育委員会事務局岩木庁舎に移転、業務開始 ○ 市町村合併による暫定の教育委員に佐藤眞氏、加川勝氏、木村公則氏、今井高志氏、佐藤信隆氏を選任（2月27日） ○ 教育委員長に教育委員佐藤眞氏を選任（2月27日） ○ 教育長に教育委員佐藤信隆氏が就任（2月27日）
平成 18 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 市長に相馬鋳一氏が就任（4月16日） ○ 太宰治まなびの家（旧藤田家住宅）開館（4月18日） ○ 教育委員に柴田友子氏、今井高志氏、小嶋義憲氏、石澤誠氏、石岡徹氏が就任（5月20日） ○ 教育委員長に教育委員柴田友子氏を選任（5月20日） ○ 教育長に教育委員石岡徹氏が就任（5月20日） ○ 高照神社（本殿・中門等8棟2基）国重要文化財に指定される。（7月5日） ○ ボランティア支援センター相談窓口が弘前文化センターへ移転（8月2日） ○ 太田市・弘前市親善交流演奏会の開催（8月20日） ○ 市町村合併新市誕生記念「第37回日展弘前展」の開催（9月16日～10月9日） ○ 弘前市立図書館創立100周年記念講演会の開催（11月3日） 演題「江戸時代の白神山地」 講師：長谷川成一氏（弘前大学教授） ○ 新市域における情報格差解消を目的とした、小中学校・地域インターネット整備事業の実施・完了（1月19日）
平成 19 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育委員に今井高志氏が再任（5月20日） ○ 教育委員長に教育委員柴田友子氏を再選（5月20日） ○ 新弘前市誕生1周年記念 弘前音楽祭（2月8日～2月10日） ○ 青森県中弘南黒地方視聴覚教育協議会が廃止（3月31日） ○ 揚亀園・旧菊池氏庭園（弘前明の星幼稚園庭園）が国の登録記念物（名勝地）に登録される。（7月26日）
平成 20 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育委員に斎藤明子氏が就任（5月20日） ○ 教育委員長に教育委員柴田友子氏を再選（5月20日） ○ 弘前図書館及び岩木図書館のコンピュータシステム統合によるサービス開始（8月1日） ○ 第1回弘前スポレク祭の開催（10月12日、13日） ○ 市町村合併後初の『弘前の文化財』を刊行（3月23日）
平成 21 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育委員に柴田友子氏が再任（5月20日） ○ 教育委員長に教育委員柴田友子氏を再選（5月20日） ○ 文化に関する事務（文化財の保護に関するものを除く。）を市長部局に移管（4月1日） これにより、弘前文化会館、弘前市民会館、弘前駅前市民ホール、弘前市立百石町展示館及び岩木文化センターも市長部局に移管となる。 ○ 学習情報館が生涯学習課内の施設となる。（4月1日） ○ 児童劇観劇教室事業の主管課が弘前市民会館から生涯学習課となる。（4月1日） ○ ト傳流剣術（古武道）を市指定無形文化財に指定（4月15日）
平成 22 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 和徳小学校屋内運動場を増改築（3月22日）[面積1,189㎡] ○ 市長に葛西憲之氏が就任（4月16日） ○ 教育委員に山科實氏、佐藤紘昭氏が就任（5月20日） ○ 教育委員長に教育委員柴田友子氏を再選（5月20日） ○ 教育長に教育委員佐藤紘昭氏が就任（5月20日） ○ 津軽氏城跡（種里城跡・堀越城跡・弘前城跡）の指定面積の追加（8月5日） [追加指定面積 3,992.43㎡、全体指定面積 1,058,143.07㎡] ○ 体育施設の指定管理の実施 ○ 夢実現弘前教育プラン「弘前市教育振興基本計画」策定（12月）
平成 23 年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育委員に前田幸子氏が就任（5月20日） ○ 教育委員長に教育委員柴田友子氏を再選（5月20日） ○ 猪形土製品（青森県十腰内2遺跡出土）が国指定重要文化財（考古資料）に指定される。（6月27日） ○ 第四中学校校舎を改築 [面積7,100㎡]（8月11日） ○ 岩木山神社社務所が県重宝（建造物）に指定される。（8月19日） ○ 太田市・弘前市友好都市親善交流演奏会の開催（8月21日） ○ 弘前城築城400年祭の実施（1月～12月） ○ 石場旅館・翠明荘が国登録有形文化財（建造物）に登録される。（2月23日）

年度	事 項
平成24年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 石川小学校屋内運動場を増改築〔面積907㎡〕（3月15日） ○ 福村小学校校舎を増築〔面積441㎡〕（3月25日） ○ 木造笠原八郎兵衛坐像を市指定有形文化財に指定（4月13日） ○ 教育委員に今由香氏、土居真理氏が就任（5月20日） ○ 教育委員長に教育委員山科實氏を選任（5月20日） ○ 大森勝山遺跡が国指定史跡に指定される。（9月19日） ○ 弘前市民会館大規模改修事業（建築躯体更生等工事、電気設備工事、機械設備工事、舞台機構設備工事、舞台照明設備工事、舞台音響設備等工事、太陽光発電システム設置工事、コージェネシステム設置工事、段差解消機設置工事、緞帳復元新調業務委託） 工事期間：平成24年12月～平成25年12月 ○ 弘前市立博物館改修事業（建築工事、電気設備工事、機械設備工事、太陽光発電システム設置工事） 工事期間：平成24年12月～平成25年12月 空調調整期間：平成26年1月～3月 ○ 旧笹森家住宅が開館（2月8日） 同住宅を市指定有形文化財に指定（2月20日） ○ 平成25年第1回定例会において、子どものいじめや虐待を根絶し、子どもの笑顔を守り、広げるための基本的な理念を定めた「子どもの笑顔を広げる弘前市民条例～いじめや虐待のないまちづくりを目指して」案を可決（3月21日） ○ 中央公民館相馬館が、新相馬庁舎（愛称「相馬やすらぎ館」）へ移転（3月25日）
平成25年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ スポーツに関する事務（学校における体育に関するものを除く。）を市長部局に移管（4月1日） これにより、体育施設も市長部局に移管となる。 ○ 教育総務課を教育政策課に改称し、政策調整担当を配置（4月1日） ○ 学校教育行政所管課を学校教育改革室、学校企画課、学務健康課、学校指導課の学校教育4課体制に再編し、総合調整を担う学校教育推進監を新設（4月1日） ○ 文化財保護課を文化財課に改称（4月1日） ○ 弘前市立図書館の3館体制を、弘前図書館を中央館、岩木図書館を分館、相馬図書館を配本所（相馬ライブラリー）とする。（4月1日） ○ 弘前市教育研究所を弘前市教育センターに、弘前市就学指導委員会を弘前市教育支援委員会に、学校適応指導教室を弘前市フレンドシップルームに改称（4月1日） ○ 教育委員に一戸由佳氏が就任（5月20日） ○ 教育委員長に教育委員山科實氏を再選（5月20日） ○ 弘前市民文化交流館開館（7月27日）（ヒロロスクエア3・4階） ○ 弘前図書館駅前分室「こども絵本の森」が開館（7月27日）（ヒロロスクエア3階子育てエリア内） ○ 弘前市教育振興基本計画一部改訂（8月） ○ 中央公民館相馬館長慶閣改修事業（建築工事、電気設備工事、機械設備工事） 工事期間：平成25年10月～平成26年3月 ○ 高杉小学校校舎を増改築〔面積3,412㎡〕（12月10日） ○ 高杉小学校屋内運動場を増改築〔915㎡〕（3月14日） ○ 文京小学校校舎を増改築〔面積5,138㎡〕（12月11日） ○ 文京小学校屋内運動場を増改築〔1,184㎡〕（3月10日） ○ 弥生小学校閉校（3月31日） ○ 東日屋スキー場の廃止（3月31日）
平成26年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ そうまロマントピア天文台 観光政策課へ所管替え ○ 弘前市運動公園リニューアル事業 期間：平成26年4月～平成27年5月 ○ 教育委員に九戸眞樹氏、佐々木健氏が就任（5月20日） ○ 教育委員長に教育委員九戸眞樹氏を選任（5月20日） ○ 教育長に教育委員佐々木健氏が就任（5月20日） ○ 弘前市教育振興基本計画策定（6月） ○ 相馬ふれあい館整備事業（講堂・プール・屋外トイレ等解体工事、建築工事、電気設備工事、機械設備工事、駐車場・広場排水整備工事、非常放送設備設置工事） 工事期間：平成26年7月～平成27年3月 ○ 「絹本著色阿弥陀如来像」及び「紙本著色元三大師縁起絵巻・慈眼大師縁起絵巻附箱」が市指定有形文化財（絵画）に指定される。（7月4日） ○ ブックスタート事業を各市立図書館で開始（8月20日から配布。平成26年4月1日以降生まれ対象。） ○ 西目屋村と弘前市との間の中学校教育事務委託に関する協定書調印式（10月3日） ○ すべての小中学校に防犯カメラを設置 ○ 岩木川市民ゴルフ場管理棟等不動産取得（2月13日） ○ 和徳幼稚園閉園（3月31日）

年度	事 項
平成27年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 和徳幼稚園ことばの教室が弘前市教育センターの所管となり、弘前市幼児ことばの教室として開館（4月1日） ○ 西目屋村の中学生を教育事務委託により東目屋中学校で受入れ開始（4月1日） ○ 教育委員に前田幸子氏が再任（5月20日） ○ 教育委員長に教育委員九戸眞樹氏を再選（5月20日） ○ 弘前運動公園野球場改築事業 工事期間：平成27年6月～平成29年6月 ○ 弘前市庁舎本館が国登録有形文化財に登録される（8月4日） ○ 津軽塗を市指定無形文化財（工芸技術）に指定（12月24日） ○ 紙漉沢獅子舞を市指定無形民俗文化財に指定（12月24日） ○ 三和小学校校舎を一部改築〔面積228㎡〕（1月21日） ○ 旧弘前藩諸士住宅（旧笹森家住宅）が国の重要文化財に指定される（2月9日） ○ 裾野小学校校舎を新築〔面積2,891㎡〕（2月25日） ○ 自得小学校屋内運動場を増改築〔面積562㎡〕（3月7日） ○ 裾野小学校屋内運動場を新築〔面積911㎡〕（3月28日） ○ 修斉小学校、草薙小学校閉校（3月31日）
平成28年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 学校教育改革室、学校企画課を再編し、学校づくり推進課に統合（4月1日） ○ 文化財課に津軽歴史文化資料館整備担当を設置（4月1日） ○ 修斉小学校、草薙小学校を統合し、裾野小学校開校（4月1日） ○ 革秀寺のサルスベリ、弘前公園のネズコ、弘前公園のアイグロマツ、弘前公園最長寿のソメイヨシノが県天然記念物に指定される（4月18日） ○ 教育委員に澤田美彦氏が就任（5月20日） ○ 教育委員長に教育委員九戸眞樹氏を再選（5月20日） ○ 津軽塗が県技芸（工芸技術）に指定される（8月15日） ○ 珠洲焼経容器及び蓋石を市指定有形文化財（考古資料）に指定（11月4日） ○ 堂ヶ平経塚を市指定史跡に指定（11月4日） ○ 大成小学校にエレベータを設置（3月24日） ○ 第三中学校にエレベータを設置（3月25日）
平成29年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 弘前図書館、岩木図書館、郷土文学館、こども絵本の森が指定管理による運営を開始（4月1日） 指定管理者：TRC・アップルウェーブ・弘前ペンクラブ共同事業体 ○ 平川家住宅（建造物）を市指定有形文化財（建造物）に指定（4月14日） ○ 教育委員に高木恵美子氏が就任（5月20日） ○ 教育委員長に教育委員九戸眞樹氏を再選（5月20日） ○ 津軽塗が国の重要無形文化財（工芸技術／漆芸）に指定されるとともに、津軽塗技術保存会が保持団体に認定される（10月2日） ○ 弘前市有漆林が文化庁の「ふるさと文化財の森」に設定（3月5日） ○ 百沢小学校閉校（3月31日）
平成30年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 「高岡の森弘前藩歴史館」開館（4月1日） ○ 市立小・中学校全校で小中一貫教育がスタート（4月1日） ○ 市立小・中学校28校でコミュニティ・スクールがスタート（4月1日） コミュニティ・スクール導入校：自得小学校、高杉小学校、城東小学校、文京小学校、千年小学校、大和沢小学校、東目屋小学校、和徳小学校、時敏小学校、第三大成小学校、石川小学校、松原小学校、北小学校、大成小学校、裾野小学校、岩木小学校、常盤野小学校、相馬小学校、東目屋中学校、第一中学校、第三中学校、石川中学校、北辰中学校、裾野中学校、南中学校、津軽中学校、常盤野中学校、相馬中学校 ○ 常盤野小・中学校へ小規模特認校制度を導入（4月1日） ○ 株式会社青森銀行が重要文化財旧第五十九銀行本店本館（青森銀行記念館）を寄贈（4月2日） ○ 市長に櫻田宏氏が就任（4月16日） ○ 教育長に吉田健氏が就任（5月20日） ○ 教育委員に村谷要氏が就任（5月20日） ○ 丹藤氏庭園（旧三上氏庭園）が国の登録記念物（名勝地）に登録される（2月26日）

年度	事 項
平成31／令和元年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 教育政策課を教育総務課、学校づくり推進課を学校整備課に改称（4月1日） ○ 市立小・中学校16校でコミュニティ・スクールがスタート（4月1日） コミュニティ・スクール導入校：船沢小学校、福村小学校、豊田小学校、堀越小学校、小沢小学校、青柳小学校、城西小学校、朝陽小学校、桔梗野小学校、西小学校、東小学校、船沢中学校、第二中学校、第四中学校、第五中学校、東中学校 ○ 教育委員に日景弥生氏が就任（5月20日） ○ 當田流剣術（古武道）を市指定無形文化財に指定（11月1日） ○ 成田氏庭園・對馬氏庭園・須藤氏庭園（青松園）が国の名勝に指定される（3月10日） ○ 市立小・中学校全校のすべての普通教室及び音楽室に冷房設備を整備（3月30日）
令和2年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 三省小学校でコミュニティ・スクールがスタート（4月1日） ○ 教育委員に柿崎良樹氏が就任（5月20日） ○ 弘前れんが倉庫美術館がグランドオープン（7月11日） ○ 紙本着色弘前八幡宮祭礼図巻が県重宝（絵画）に指定される（9月4日） ○ 小友小学校、三和小学校、新和小学校閉校（3月31日）
令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 小友小学校、三和小学校、新和小学校を統合し、新和小学校開校（4月1日） ○ 致遠小学校、新和小学校、新和中学校でコミュニティ・スクールがスタート（4月1日） 市立小・中学校すべてにコミュニティ・スクールが導入される ○ 中央公民館を課相当の組織へ改正（4月1日） ○ 弘前文化センター長寿命化改修工事のため施設を一時休館（建築工事、電気設備工事、機械設備工事、舞台機構設備工事、舞台照明設備工事、舞台音響設備工事） 休館期間：令和3年4月～令和5年3月 工事期間：令和3年6月30日～令和4年12月28日 ○ 弘前文化センター長寿命化改修工事に伴い中央公民館事務室を中央公民館岩木館へ移転（令和3年4月～令和5年3月） ○ 教育長に吉田健氏が再任、教育委員に齋藤由紀子氏が就任（5月20日） ○ 普門院本堂、絹本墨画淡彩返魂香之図 附箱・遊魂図説を市指定有形文化財に指定（5月25日） ○ 史跡大森勝山遺跡を構成資産のひとつとする「北海道・北東北の縄文遺跡群」が世界遺産に登録（7月25日）
令和4年度	<ul style="list-style-type: none"> ○ 乳井神社五輪塔が県重宝（建築物）、津軽の七日堂祭が県無形民俗文化財に指定される（4月13日） ○ 教育委員に村谷要氏が再任（5月20日） ○ 土偶（砂沢遺跡出土）、ヒスイ大珠（湯口長根遺跡出土）を市指定有形文化財に指定（10月13日）

令和5年10月 発行

編集・発行 弘前市大字賀田一丁目1番地1
弘前市教育委員会

電 話 0172-82-1639

